

特定非営利活動法人 NPOもがみ  
平成22年度 事業報告書

自：平成22年4月1日  
至：平成23年3月31日

## I 平成22年度の成果と総括

平成22年度も新庄市からは、新庄市エコロジーガーデン内事務室の一室を当法人の事務室として使用許可（行政財産目的外使用許可・無償貸与）をいただき、活動を力強く展開することができた。事務室は、東北農業試験場時代の所長室に当たる場所であり、この使用により、来客への対応を始め、スタッフの打ち合わせ、個別相談への対応等の充実を図ることができた。

よろず相談事業では、新庄市と『「市民活動よろず相談事業」に関する覚え書き』をかわし、協働関係を構築することで行政とNPOの協働モデルとしての実績を蓄積することができた。

最上地域内NPOや個人を構成メンバーとする「私たちとお医者さんを守る最上の会」を発足させた。当法人は事務局として深く関わり、最上地域で安心して暮らし続けるための地域づくりの視点から地域医療の改善や健全化につなげ、地域コミュニティの問題と啓発に主体的に取り組むこととなった。

平成21年から引き続きふるさと雇用再生特別基金事業による委託事業を2つ受託した。

1つは、新庄市との契約による「地域づくり支援事業」であり、2つめは、山形県からの「NPOアドバイザー派遣事業」業務委託である。

事業内容や成果などについては、受託事業の項を参照されたい。

山形県内のNPO法人5団体と県とで山形県NPO中間支援組織連絡会を設立した。このことにより当法人の最上地域におけるNPO中間支援組織としての位置づけが内外共に明確化されることとなった。

組織面では、役員を構成メンバーとする戦略会議を設け、組織運営や財政強化策、情報の公開による信頼性の確保に向けた方策を検討し、持続可能な組織マネジメントを行った。加えて当法人の公式サイト再構築をはかるとともに運用が開始された。

## II 自主事業

### 1 市民活動よろず相談事業

最上地域における市民活動支援の一環として、市民活動よろず相談を行った。

特に今年度は、これまで当法人が設立以来継続していたNPO相談事業を、新庄市

と『「市民活動よろず相談事業」協働に関する覚書』を締結し行った。

役割分担を明確にし相談に関する情報の共有化をはかった。相談場所の提供とチラシや広報等での周知については新庄市が担当し、相談対応は当法人理事が当たった。なお相談内容等については相互の共有化を図るため、「市民活動よろず相談報告書」にて記録をとり、担当課長及び担当者レベルでの状況把握に努め、よろず相談の可視化を図った。

◇会場：新庄市民プラザ市民交流広場「ぷらっと」

◇実施期間：平成22年4月14日～平成23年3月23日

◇開催日：毎月第2・第4水曜日の午後1時～4時  
(但し8月は新庄祭のため1回休み)

◇開催回数：23回

◇相談者数：45名（男19名 女26名）

◇相談者内訳：個人15件

団体25件（市民活動団体14件 行政9件 商店街1件 大学1件）

◇主要内容：設立相談に関する事、設立趣意書のあり方、講師派遣依頼、市民協働企画提案制度、NPOの基礎知識習得、会計税務、組織運営及び事業マネジメントに関する事項、指定管理関連案件、仲間と支援者の集め方、市民活動と地元企業の関係性、等

◇特徴：相談者の多くは、複数回の訪問である。

行政担当者からの相談が増えている。

相談が活動団体間の情報交換の場の提供になっている。

◇相談：無料

◇周知広報：新庄市広報に掲載 及びチラシ

◇成果：NPO関係者のモチベーション維持と向上に貢献できた。

市民活動よろず相談の存在を活動者や地域自治体のNPO担当者の業務の後押しにつなげることができた。

◆その他：通年にわたり、事務室への来訪や電話への対応を行った

会計税務労務関係の相談は、受託事業の県アドバイザー派遣事業の中で対応した。そのため、相談内容はこの項に記載しない。

\*担当：沼野

## 2 交流連携事業

◇大テーマ：“もがみが動く もがみが変わる 2010”の開催

◇テーマ：“めざせ！われら活動のパワーアップ”

- ◇目的：①最上地域の行政課題を知り、課題解決者としての自覚を促すこと。  
②活動のヒントを得ることで活動強化につなげること。  
③他団体の地域課題解決策の取り組みを相互に学び合うこと。  
③活動団体と行政がより身近に知り合うことで双方の理解につなげるこ  
と。
- ◇内容：行政とNPO・地域づくり団体のお見合い会と交流会の実施。
- パートⅠ：開催日：平成22年10月30日（土）13：00～16：30  
活動紹介者：鮭川村自然保護委員会、  
行政担当課：県民活動推進室、最上総合支庁（地域振興課・  
産業経済企画課・子ども家庭支援課）  
参加者数：36名
- パートⅡ：開催日：平成23年1月22日（土）13：00～16：00  
活動紹介者：（特）やまなみ  
行政担当：舟形町まちづくり課、最上町まちづくり推進室、  
新庄市政策経営課  
参加者数：17名
- パートⅢ：開催日：平成23年2月26日（土）13：00～16：00  
活動紹介者：（特）さわやかサロン（特）四季の学校・谷口  
（特）ヒマワリ企画（特）たんぼぼ作業所、  
最上の元氣研究所  
行政担当：県民活動推進室、真室川町企画課  
参加者数：38名
- ◇成果：①行政担当者と最上地域の活動団体が一同に会することができた最初  
の機会となった。  
②行政と活動団体相互に顔の見える関係を築く一歩となった。

### 3 研修事業

山形県NPOアドバイザー派遣事業の中で実施した。  
「受託事業2 NPOに対する研修等」の項を参照。

### 4 活動団体交流会「もがみが動く もがみが変わる 2010」の開催

行政が抱える地域課題を知り、公共の担い手としてNPO自身が課題解決に向  
けた事業の展開を力強く行う自覚とヒントを得るために「お見合い会」を3回実  
施した。各団体の地域課題の認識や解決法を共有すると共に行政のNPOに対す  
る期待に学ぶことができた。

上記「2 交流連携事業」も合わせて参照。

◇タイトル：行政とNPO・地域づくり団体のお見合い会

「めざせ！われら活動のパワーアップⅠ～Ⅲ」

□開催日

第1回：平成22年10月30日（土）

第2回：平成23年1月22日（土）

第3回：平成23年2月26日（土）

□報告者

やまなみ、さわやかサロン、四季の学校・谷口、ヒマワリ企画、  
たんぽぽ作業所、最上の元氣研究所、舟形町、真室川町、最上町、  
新庄市、最上総合支庁地域支援課、山形県県民活動推進室、

□参加人数：約100名

□会場：エコロジーガーデン内 研修室及び交流室

5 他団体との交流連携・共催・後援など

◇ぶらっととの共催（市民活動フェスタで団体CMとして活動紹介を行うため）

□第1回ぶらっとカフェ 平成22年6月23日（水）

「Wordを使ったチラシ作成のコツ～見せるチラシ作成講座」

□第2回ぶらっとカフェ 平成22年9月10日（金）、30日（木）

「写真を加工しよう～画像処理の基本的な操作を学ぶ～」

□第3回ぶらっとカフェ 平成22年10月18日（月）、10月28日（木）  
11月11日（木）、11月18日（木）

◇市民活動フェスタへの出展参加

□期日：平成22年11月27日（土）

□会場：ゆめりあ 花と緑の交流広場

□内容：NPOもがみの活動紹介と募集、#8000の啓発、  
NPO啓発ちらしの配布、フリーマーケット、韓国鍋等で参加

◇平成22年度NPO中間支援機能強化事業への参画

□参加団体：（特）NPOもがみ・（特）山形創造NPO支援ネットワーク・

（特）やまがたの公益活動を応援する会アミル・

（特）Yamagata1・（特）長井まちづくりNPOセンター・  
山形県

◇グラウンドワーク新庄

□テーマ：夏休み昆虫セミナー「ちびっこ寺子屋」共催

□期日：平成22年7月24日（土）

□会場：エコロジーガーデン

□参加者数：親子約25名

### Ⅲ 受託事業（山形県ふるさと雇用再生特別基金事業）

#### ●受託事業 1

■事業名 : 平成22年度地域づくり支援事業  
(山形県ふるさと雇用再生特別基金事業)

■受託先 : 新庄市

■受託期間 : 平成22年4月1日～平成23年3月31日

■雇用者 : 1名(失業者を雇用)

■事業担当 : 沼野、長沢、清水

#### ■事業の目的

地域の住民が数多く参加し話し合い、地域課題を発掘・認識し共有した上で、地域づくりの目標や活動の目的を持つための環境づくりを推進する。

また、地域内の話し合いをコーディネートし、住民自らが地域の将来像について考える住民主体のまちづくりを推進する機会とする。

#### ■事業の内容

##### 1 地域づくりセミナー

地域の課題を発掘・共有することを目的としたセミナー等を開催した。

◆講師 : 高橋 信博 氏(地域づくりプランナー)

##### 1) 山屋地区

◇会場 : 山屋地区公民館

◇山屋地区における地域診断(ヒアリング)

開催日時 : 平成22年7月1日 午後7時～

◇山屋地区における地域づくり活動について

開催日時 : ①平成22年8月4日 午後7時～

②平成22年9月13日 午後7時～

③平成22年9月27日 午後7時～

◇参加対象者 : 山屋地区住民、新庄市、NPOもがみ

◇参加者数 : 約70名

◇詳細は報告書参照

##### 2) まちなかの地区

◇会場 : ゆめりあ 第1会議室

◇対象地区 : 南紙漣町・北紙漣町・

東下名古屋敷・西下名古屋敷・上名古屋敷

◇開催日時 : 平成23年1月17日 午後1時30分～

◇参加対象者：区長（南・北紙敷町、東下・西下名古屋敷）

中の川中流愛護会、民生児童委員、新庄市、NPOもがみ

◇参加者数：16名

◇内容：地域づくり懇談会

詳細は報告書参照

## 2 地域づくりワークショップ

山屋地域の個々の課題を発掘・共有し、整理・提案を通して、地域づくりの方向性を見出すワークショップを開催し、ドキュメントとしてまとめ地区の総会時に全戸へ配布した。

◆講師：高橋 信博 氏（地域づくりプランナー）

◇対象地区：山屋地区

◇会場：旧山屋小学校

◇開催：第1回：平成22年10月31日（日） 9：00～15：00

第2回：平成22年12月19日（日） 9：00～11：30

第3回：平成23年 1月30日（日） 10：00～12：00

◇参加者数：約130名

## 3 地域づくりシンポジウム

今事業の総括として、地域づくりに取り組む関係者・団体をシンポジストとして、事業報告と意見・情報交換、それに対するアドバイスを通し、今後の地域づくりにおける全体的な機運を高める機会として開催する。

「自分の地域の参考になる」「これなら地域でもできる」ことに主眼を置きシンポジウムの計画と事例の選定をするべきだとの合意形成があり、市総務課から推薦のあった本宮1区の巻エミ子氏が活動する赤十字奉仕団活動の事例が最適とされた。

山屋地区と本宮1区について、平成23年3月12日（土）の開催に向けて順調に準備を進めてはいたが、このたびの東日本大震災の発生により残念ながら開催できなかった。

## 4 その他

市民活動交流ひろば「ぷらっと」が実施する地域づくりに関わる事業の人的なサポートを行った。

### ■成果

- 1 新庄市内において住民主体の地域づくりをめざそうとする意欲的な地区の把握ができた。
- 2 ワークショップ等に参加することで地域の良さや誇りなどの宝物を発掘し、次世

代につなげようとする地区の姿が出てきた。(山屋地区)

- 3 おとなの男性のみならず子どもや女性の参加を得たことで、より多くの地区住民の意見をひろうこととなり地区全体への波及効果が期待できた。(山屋地区)
- 4 参加者のみの体験共有ではなく、地区の総会で本事業について説明しドキュメントを全戸に配布することで地区全体への広がりが期待できるものとなった。(山屋地区)
- 5 まちなか地区においては、区長、民生児童委員、地域担当職員、健康福祉推進員等の参加を得ることで、相互の関わりによる課題の顕在化と共有化を図ることができた。
- 6 実践行動をやまがた社会貢献基金の助成金等にトライし活動資金に充てようとする動きがでてきた。(山屋地区)

#### ■課題

- 1 山屋地区において出された行動計画をどのように実現していくのかを平成23年度につなげることが肝要である。
- 2 まちなかの地区選定に時間がかかり、期間内での業務取り組みが不十分になってしまった。

#### ●受託事業 2

■事業名 : 平成22年度山形県NPOアドバイザー派遣事業  
(山形県ふるさと雇用再生特別基金事業)

■受託先 : 山形県

■受託期間 : 平成22年4月1日～平成23年3月31日

■雇用者 : 1名(失業者を雇用)

■事業担当 : 沼野、伊東、高橋

#### ■事業の目的

地域課題の解決に自主・自立的に取り組みながらも、組織運営上の課題を抱え、本来の活動を安定的に遂行することが困難なNPOに対して、経理・労務管理等の知識を持つ者をNPOアドバイザーとして派遣すると共に、組織運営に係る研修などを実施し、NPOの総務・会計事務処理能力及び事業遂行能力のスキルアップを図ること。

#### ■事業の内容

- 1 NPOに対する指導・助言
  - 1) アドバイザーの研修参加による資質向上  
雇用されたNPOアドバイザーに対して、当法人は計画的に研修等を行い、NPOに関する理解と認識を深め、基礎的な知識を備えた。  
その他に、知識習得に向け他団体が主催する研修会や講座等にも積極的に参加を促し、アドバイザーの資質向上を図った。

当法人の研修指導：計画的、随時、適宜実施

外部研修への参加： 6月…3回  
9月…1回  
10月…1回  
11月…2回  
12月…1回  
1月…2回  
2月…3回  
3月…1回                   計     14回

## 2) NPOアドバイザーの派遣

労務管理、会計処理など組織運営上の課題を抱え、本来の活動を安定的に遂行することが困難なNPOに対して、NPOアドバイザーを派遣し、総務・会計事務処理能力のスキルアップを図った。

NPOアドバイザー業務日報及び訪問カルテを参照。

## 3) 平成22年度山形県NPOアドバイザー派遣事業連絡会議への出席

県が主催する本会議へ出席し、各受託事業者及び担当者との情報交換や進捗状況の共有また事例の研究を通じて、本事業の業務の質を高め、より精度の高い成果をうみ出すよう努めた。

第1回：平成22年6月2日 村山総合支庁603会議室

- ・平成22年度の実施事業について
- ・NPOアドバイザー派遣事業の状況報告

第2回：平成22年11月16日 県庁1001会議室

- ・企業との協働事例について
- ・NPO中間支援強化推進事業について
- ・NPOアドバイザー派遣事業の状況報告
- ・NPO中間支援業務に関する事例研究

第3回：平成23年1月13日 なの花ホール

- ・新しい公共事業について
- ・中間支援関係業務に関する事例研究

第4回：平成23年3月8日 長井桑島記念館

- ・新しい公共事業について
- ・NPOアドバイザー派遣事業に係る平成22年度の総括

## 2 NPOに対する研修等

### 1) NPOの組織運営及び事業実施に係る研修等の開催

総務関係では会計経理、勘定科目の整理、伝票処理、複式簿記及び決算処理等、労務関係では就業規則の整備助言等を行った。これらの実施に伴いNPOの総務・会計事務処理能力のスキルアップを図った。

加えて、新庄市市民活動交流広場「ぷらっと」との共催によるぷらっとカフェを開催し、合計15回の研修実施となった。

- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| ①：「NPO労務管理研修会Ⅰ」           | 22.11.11(木) |
| ②：「NPO労務管理研修会Ⅱ」           | 22.12.13(月) |
| ③：「年末調整講座Ⅰ」               | 22.11.29(火) |
| ④：「年末調整講座Ⅱ」               | 23.1.19(水)  |
| ⑤：マイクロソフト社の器材を使った「IT活用講座」 | 22.12.18(土) |

- ⑥：行政とNPO・地域づくり団体のお見合い会  
「めざせ！われら活動のパワーアップⅠ」 22. 10. 30 (土)
- ⑦：「同上 Ⅱ」 23. 1. 22 (土)
- ⑧：「同上 Ⅲ」 23. 2. 26 (土)
- ⑨：第1回ぷらっとカフェ  
「Wordを使ったチラシ作成のコツ～見せるチラシ作成講座」 22. 6. 23 (水)
- ⑩～⑪：第2回ぷらっとカフェ 22. 9. 10 (金) 9. 30 (木)  
「写真を加工しよう～画像処理の基本的な操作を学ぶ～」
- ⑫～⑮：第3回ぷらっとカフェ 22. 10. 18 (月) 10. 28 (木)  
11. 11 (木) 11. 18 (木)

2) 地域内のNPOの連携推進及びNPOの活動環境の向上  
上記2の1)の⑥、⑦、⑧の開催及びNPO等が主催する地域のイベントへ参加することにより、連携推進やNPOの活動環境の向上につとめた。

### 3) 地域内のNPO活動の現況等の把握

地域内のNPO122団体を訪問し、抱える課題及び地域におけるNPOと多様な主体との連携状況の把握に努めた。

さらに、連携推進及び活動環境の向上へつなげた。

## 3 NPO中間支援機能強化

県内におけるNPO中間支援組織5団体（山形創造NPO支援ネットワーク、アミル、公益のふるさと創り鶴岡、長井まちづくりNPOセンター、NPOもがみ）による山形県NPO中間支援組織連絡会を立ち上げ、機能強化に関する検討及び実践等に積極的に関わり参画した。

## 4 その他

1) 新庄市市民交流広場「ぷらっと」でのNPOよろず相談等においても対応した。

2) やまがた社会貢献基金について、主催研修会時や地域交流事業への参加時にチラシを配布するなどの情報提供を積極的に行い、広く周知の機会をとった。

基金活用団体の事業報告書等の作成についても助言を行った。

## ■成果

- 1 アドバイザー派遣により最上地域122団体の活動実態及び諸課題を把握することができた。
- 2 上記1の諸課題に対応し適切に指導助言を実施することができた。
- 3 指導助言を受けたNPOからの評価感想は好評だった。
- 4 NPOの会計経理に関する意識の高まりがあった。
- 5 指導助言を受けたNPOにとり、正しい会計処理の方法と会計経理に関する情報公開が、組織に対する信頼性と信用性を得ることについて大変重要であることの認

識に深まりがあった。

- 6 15回の研修会主催を通じ、最上地域のNPO代表者の参加を得たことで、組織経営者としての共通する悩みや抱える課題を相互に知る事が出来たと感謝された。
- 7 市民団体の活動CMづくり研修に関し、参加団体のスキルアップが図られ、今後、活動資金調達のためのプレゼンテーションや情報発信等に応用活用されることが期待でき、大いに役立つものとする。
- 8 「めざせ！われら活動のパワーアップ」を通じ、NPOと県行政及び市町村行政との仲立ち（お見合い会）を行い、顔の見える関係構築の一助に資することができた。
- 9 本事業を通じ、本法人のHPが再構築運用された。  
URL <http://stylelinkage.jp/np0-mogami/>
- 10 当法人の旅費規程の見直しを行い成案とすることができた。
- 11 山形県NPO中間支援組織連絡会を県内5団体と共に立ち上げる事ができた。

#### ■課題

- 1 スケジュール通りに進捗せず進行工程の見直しをせざるを得なかった。
- 2 団体情報等を得るための工夫が不十分と思われることがあった。

#### IV 行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力

NPOを代弁し、よりよい社会づくりに積極的に参画するために対応した。

##### ◎新庄市

- ・新庄市振興計画審議会委員
- ・指定管理者候補選定委員会委員

##### ◎最上広域圏事務組合

- ・指定管理者候補選定委員会委員

##### ◎山形県

- ・山形県立図書館協議会
- ・山形県まちづくりサポーター

##### ◎（財）山形県生涯学習文化財団

- ・男女共同参画県民企画事業審査会審査員

##### ◎国土交通省

- ・最上地区河川懇談会委員

##### ◎山形経済同友会

- ・地域づくりのやまがた景観賞審査会審査員

平成22年度財産目録  
平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 NPOもがみ

科 目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
普通預金	767,317		
流動資産合計		767,317	
2 固定資産			
パソコン一式	6,741		
固定資産合計		6,741	
資産合計			774,058
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	74,796		
預り金	58,223		
流動負債合計		133,019	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			133,019
正味財産			641,039

平成22年度貸借対照表  
平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 NPOもがみ

科目	金額 (単位:円)		科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金			未払金	74,796	
普通預金	767,317		預り金	58,223	
流動資産合計		767,317	流動負債合計		133,019
2 固定資産			2 固定負債		
パソコン一式	6,741				
固定資産合計		6,741	固定負債合計		0
			負債合計		133,019
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	235,087	
			当期正味財産増加額	405,952	
			正味財産合計		641,039
資産合計		774,058	負債及び正味財産合計		774,058

平成22年度収支計算書  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 NPOもがみ  
金額(単位:円)

科 目	金額(単位:円)		
I 経常収入			
1 会費・入会金			
入会金収入	0		
会費	30,000		
寄付金	389,825	419,825	
2 事業収入			
1) 自主事業			
NPO中間支援機能強化推進事業	27,000		
もがみが動く もがみが変わる2010	14,500		
市民活動フェスタ	16,865		
2) 受託事業			
地域づくり支援事業	3,600,000		
NPOアドバイザー派遣事業	4,313,400	7,971,765	
3 雑収入			
1) 受取利息	288		
2) パソコン	7,000	7,288	
経常収入合計			8,398,878
II 経常支出			
1 事業費			
1) 自主事業			
もがみが動く もがみが変わる2010	3,500		
2) 受託事業			
地域づくり支援事業	3,601,721		
NPOアドバイザー派遣事業	4,313,459	7,918,680	
2 一般管理費			
役員報酬			
給料			
福利厚生費			
法人税	72,000		
旅費交通費			
印刷消耗品費			
水道光熱費			
減価償却費	2,246		
雑費		74,246	
経常支出合計			7,992,926
経常収支差額			405,952
III その他資金収入の部			
固定資産売却収入			
借入金			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
固定資産購入			
借入金返済			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			405,952
前期繰越収支差額			235,087
次期繰越収支差額			641,039

## 平成22年度において役員であったことのある者全員の名簿

およびそのうち平成22年度において報酬を受けたことがある者全員の名簿

特定非営利活動法人

N P O も が み

役職	氏名	住所または居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	沼野 慈		平成22年4月1日 ~23年3月31日	なし
副理事長	阿部 彰		同上	なし
理事	井上 亘		同上	なし
理事	菅 信也		同上	なし
理事	田澤 賢一		同上	なし
監事	永井 敏行		同上	なし

# NPOもがみ 会員名簿

H23.5.31

正会員

会 員 氏 名	住 所	電 話
1 沼 野 慈		
2 阿 部 彰		
3 井 上 亘		
4 菅 信 也		
5 田 澤 賢 一		
6 永 井 敏 行		
7 小 松 伸 也		
8 伊 東 シゲ子		
9 柴 田 悟		
10 長 沢 淳 子		
11 庄 司 明 淑		
12 高 橋 悟		